

都城市議会議長 様

提出日 令和7年4月14日

視 察 報 告 書

以下のとおり視察の報告をいたします。

1 会派名及び視察者名

令和創生 江内谷満義、別府英樹、楠見千穂子、森重辰海、岩元弘樹

2 視察先・テーマ及び日時

令和7年4月3日（木曜日）13:30～15:00

J Aみやざき都城地区本部 都城市の農業情勢について

地区本部長 矢吉照美氏 総務金融畜産常務 海東裕次郎氏

農産経済常務 新地国明氏 畜産部部長 鎌田孝司氏

営農部部長 川原芳郎氏 経済部部長 平山秀樹氏

営農企画室室長 黒木雅史氏 地域営農振興課課長 乙丸一郎氏

3 視察の内容

以下の項目について質問をし、担当者より説明を受けた。

(1) 生産者の高齢化と後継者不足の現状と対策

北諸県地域における新規就農相談は年平均44件程度（R3～R7）。しかし新規参入者で独立就農に至る件数は、平均5件。資材高騰、建築費等の高騰による影響。対策としては、都城地域担い手育成総合支援協議会を中心に様々対策を実施している。

(2) スマート農業の初期投資や技術習得と生産者の収益増加との関連

現在の経費負担増が続く中で、初期投資も掛かりなかなか取組めていないのが実情。

(3) 生産者と後継者不足に伴う耕作放棄地の状況と対策

耕作放棄地が増えているという一方で、耕作放棄地をなくすために懸命に取り組んでいる生産者、法人もある。

(4) 農作物の鳥獣被害の状況と対策

今までなかった地域でも被害が発生。(イモ、水稻、飼料) これまでなかったヒヨドリによるキャベツの被害が発生。

市の助成金の活用も含め、電柵、威嚇機器など設置で対応。

(5) 農畜産物の不安定な価格が農業経営者に及ぼす影響とその対応策としての農産物のブランド化や安定した市場の確保、生産者の組織化、共同経営等の状況と対策

みやざきブランド推進北諸県地域本部委員会において、PR活動・生産性、品質の向上・規格表、規格板の作成、輸出強化事業を実施。

(6) 市の農業支援に対する課題

トラサポ事業のような機械導入に関する支援が、新規参入者、後継者等以外にも欲しい。肥料の高騰対策の支援。都城茶の販売促進。園芸に対する支援の拡充。土地集約への支援。

新規就農への支援、農業後継者等への支援、飼料高騰支援金、BL(牛伝染症リンパ腫ウイルス)対策など。

4 視察の感想

今回の意見交換により、農業の現状及び課題を把握できた。今後、行政からの聞き取り、現場の農家さんとの意見交換を実施していきたい。

5 視察の成果及び市政への反映等

現場の意見、地域計画の会議において出された課題等を抽出し、特に農業者の所得増大に向けての支援体制に取り組んでいかなければならない。

6 添付資料

